



## 日時

2017年

10月24日(火)

13時30分～16時

## 場所

千葉県立中央博物館 講堂  
(裏面地図参照)

## 対象

県内に工場・事業所がある企業  
70名 (参加無料)

## 主催

千葉県  
一般社団法人 千葉県環境保全協議会  
一般社団法人 千葉県経済協議会

## 申込・問合せ

事前申込制：千葉県生物多様性センター企業セミナー担当宛に下記内容を記載の上、メール又はFAXでお申し込み下さい。

締切：10月19日(木) (必着)

Email hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

Tel 043(265)3601

Fax 043(265)3615

## 企業と生物多様性セミナー

## 第19回 グリーンインフラの最前線



グリーンインフラは環境・社会・経済の全ての側面での価値の創出を目指す革新的な概念です。企業が事業所で持続可能な土地利用に努めることは、企業経営を持続可能なものにするための必須条件となりつつある今日、企業による土地利用を通じた生物多様性保全のあり方について、株式会社竹中工務店の三輪 隆氏に御講演いただきます。

## セミナー内容

## ◆講演

緑地を活用した生物多様性保全とグリーンインフラ創出

株式会社竹中工務店 技術研究所

リサーチフェロー 三輪 隆氏

※詳細は裏面をご覧ください。

## ◆報告

自然を再生するお墓“森の墓苑”について

公益財団法人 日本生態系協会

自然保全・再生墓地事業部 佐山 義則氏

身近なアリとヒアリの区別について

千葉県生物多様性センター 副主幹 大木 淳一

## 第19回 企業と生物多様性セミナー申込書

会社名		業種	
連絡先	Tel	E-mail	
参加者の所属 職氏名			

## 三輪 隆 (みわ たかし) 氏

株式会社竹中工務店 技術研究所 リサーチフェロー



東京大学大学院農学系研究科修士課程修了。1987年竹中工務店入社以降、緑化や生態系保全技術の研究開発に従事。都市域における緑地整備やサステナビリティを研究する中で、生物軸からの都市づくりに着目。一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ (JBIB) 持続的土地利用WGと一般社団法人いきもの共生事業推進協議会 (ABINC) 研究部会のリーダーも務める。

### 講演趣旨

生態系は都市の存続の基盤であり、生態系を保全しつつその機能を活用する自然共生型の土地利用を推進することが、都市を持続可能なものとしていく上で急務となっている。また、都市には世界の半数以上の人々が住み、世界の自然資源の3/4以上を消費する生態系サービスの一大消費地であり、都市を活動基盤としている企業が事業所で持続可能な土地利用に努めることは、企業経営を持続可能性なものとするための必須条件となりつつある。

また、人口減少・社会資本の急速な老朽化や、気候変動に伴い激甚化する集中豪雨に伴う洪水・内水氾濫等への適応策として、グリーンインフラが世界中で注目されている。グリーンインフラは、単に従来のグレーインフラに代えて水や緑に置き換える土地利用の概念ではなく、自然の多様な機能を活用し、環境・社会・経済の全ての側面での価値創出を目指す革新的な概念であり、土地利用を通じた生物多様性保全とも密接に関連する。

本講演では、SDGsやESG投資などの現在企業が直面している環境・社会・経済上の課題や潮流のほか、筆者が参加する一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ (JBIB) などによる実践的な取り組みの紹介を通じ、企業による土地利用を通じた生物多様性保全のあり方について論考する。

### ■ 会場案内図 ■

#### 千葉県立中央博物館 講堂

千葉市中央区青葉町955-2

TEL 043(265)3601

### ■ 事前申込制 ■

表面下部の必要事項を記載の上、千葉県自然保護課生物多様性センター企業セミナー担当宛に、メール又はFAXでお申し込み下さい。

締切：10月19日(木) (必着)

Email hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

Fax 043(265)3615



バス(千葉駅東口) 乗り場7「大学病院」「大学病院・南矢作」乗り場6「川戸都苑」 中央博物館下車徒歩7分  
(蘇我駅東口) 乗り場2「大学病院」中央博物館下車徒歩7分  
車利用の方は、青葉の森公園北口駐車場(4時間300円)をご利用ください。